

東日本大震災時は、石油燃料の供給が不足し、
ガソリンスタンドに長蛇の車列ができるなどの混乱が生じました。

災害はいつ起こるかわかりません。

小さな積み重ねが、災害時の石油燃料不足による混乱を防ぐことにつながります。

災害時には、県民の皆様の生命や健康に直接関わる重要施設や緊急車両に

石油燃料を供給できるよう、

日頃からの災害への備えにご理解とご協力をお願いいたします。

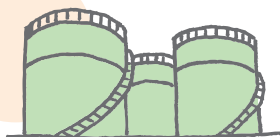
減災のために日頃からできること

車のガソリンをこまめに
満タンにしておく。



●満タンにしておくことで、移動手段としての使用に余裕が生まれるだけでなく、停電時に携帯電話を充電したり、車内に搭載したテレビやラジオで情報を得ることができます。

●1人1人のこまめな満タン給油が、石油燃料を貯蔵する油槽所のような備蓄効果につながります。

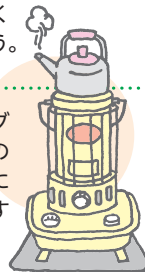


灯油を少し
多めに備えておく。



●灯油をポリタンクで保管する場合は、蓋をしっかりと密閉し冷暗所に置いておきましょう。予備用の灯油であっても、長期間の保管は避け、なるべくシーズン中に使い切りましょう。

●灯油と共に、電気を使用しない石油ストーブを用意しておく、停電時に明かりとしての役割も果たします。石油ストーブのタイプによっては、お湯を沸かしたり簡単な調理をすることもできます。



石油燃料と
一緒に
備えておこう!

石油燃料の他に、カセットコンロ、固形燃料、マッチ、ライター、ろうそく、ランタンなども一緒に備えておくと効果的です。



日頃の備え
があなたを
守る!

石油燃料を
備えて
おきましょう。

